

第1回府中市福祉のまちづくり推進審議会における質問事項等について

府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画		質問内容	回答
事業番号	事業名		
91	「歩行空間の段差解消の推進」	平成30年度のPlan（計画）に、「下河原緑道及び多摩川かぜのみちの改修工事を実施し、道路等の不陸及び段差を解消する。」とありますが、それぞれ具体的な改修の範囲や内容はどの辺りで、どのような内容でしょうか。	<p>【公園緑地課】</p> <p>下河原緑道については、舗装打替え及び交差点部分のカラー舗装を行います。今年度の実施範囲としては甲州街道南側付近から約230メートルを改修する予定です。</p> <p>多摩川かぜのみちについては、平成5年の舗装工事から25年が経過し、路面舗装の亀裂や不陸等の経年劣化が進行しています。また、平成16年から平成24年にかけて通行ルール等の路面標示をしましたが、劣化により、視認性が低下していることから、今年度から5か年計画で改修を進める計画です。特に今年度については、利用者の安全を維持するためにかぜのみち全域の通行ルールの看板及び路面標示等の新設、改修を行っています。</p>
93	「交通事業者との連携強化」	平成30年度以降計画されている多磨駅における自由通路整備事業に関して、改良工事やバリアフリー化工事を実施するに当たり、移動困難当事者や市民全体からのヒアリングや意見聴取は、どのように行われるのでしょうか。	<p>【地区整備課】</p> <p>多磨駅については、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の会場の最寄り駅として、大会組織委員会において障害者団体等の参画を得て策定している、ガイドラインに則り設計を行っています。</p>

府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画		質問内容	回答
事業番号	事業名		
93	「交通事業者との連携強化」	府中駅の西側から東側への移動に際してエレベーターが1基設置されましたが、今後地上部の西側から東側への移動に関して、何か対策はあるのでしょうか。府中駅の地上部分の東西間の移動は、西側のバスロータリー部分を迂回しなければならないので、非常に不便だという声が多いです。	<p>【地域安全対策課】 交通広場の整備を行うに当たっては、交通管理者である警視庁と道路の形状等の協議を行っており、その協議結果に合わせて整備をしています。この協議の中で、交通広場内の信号機の設置については、運転手の誤認が懸念され、通行車両及び歩行者等の安全性の観点から設置することができないとの見解が示されており、また、横断歩道の設置については、その設置により交通広場内のバス停の配置数が確保できないため、安全性及び構造面から設置不可である旨の見解が警視庁から示されています。</p> <p>【地区整備課】 府中駅のロータリーについては、都市計画決定に基づき、歩行者動線についてはペDESTリアンデッキ、また、バス・タクシーについては地上部の広場内に配置する計画となっています。東西を渡る横断歩道の設置については、これまでも交通管理者である警視庁と協議を重ねてきましたが、安全上設置は困難であるとの回答を受けています。</p>
	その他	市内の子ども食堂は、NPO等が運営しているのでしょうか、市が運営しているものや市からの支援もあるのでしょうか。	<p>【子育て支援課】 現状は、市が運営しているものではありません。社会福祉協議会から補助金をうけている団体はありますが、市で行っている支援等はありません。</p>